



質問順 / 番

AM 9:00 受付

令和6年2月19日

若桜町議会議長 山根 政彦 様

若桜町議会議員 ( 7 番)

川上 守



一般質問の通告について

次の事項について、会議規則第61条第2項の規定により質問の通告をいたします。

記

質問事項	質問要旨	質問の相手
1.主権者教育について	(1) 平成28年6月に選挙権年齢が18歳に引き下げられたことが契機になり、主権者教育が大きくさげばれてきています。この主権者教育は、「選挙権を得る前の若い年代から、地方公共団体の業務や地域課題への関心を深めるもの、子どもたちが、地域の課題について、議論していく中で民主主義や地方自治について学ぶ機会」となっていますが、現在、「若桜学園」で主権者教育が行われているか状況を伺います。	教育長
	(2) 毎年行われている、「若桜子どもシンポジウム」は、若桜町議会の本会議場で行われた「子ども議会」が最初であったもので、いろいろな学校事情があり、今の提案型のシンポジウムになったと承知をしています。今年度県が立ち上げた、「投票率の低下防止等に向けた政治参画のあり方研究会」の提言を受けて、主権者教育の教材化・市町村の取組みに財政支援なども具体化されつつあります。議会においても、「議員のなり手不足」に大きく関わることであり、行政、議会共に主権者教育を推進して行ければと考えますが如何ですか。	教育長 町長

質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の相手
2.人口減少について	<p>(1) 現在、若桜町の人口は2,760人と減少傾向になっている。それに伴い生産年齢人口もかなりのスピードで減少しており、報道によると、15歳から64歳の生産年齢人口は2020年の1,279人から2050年で357人になると推計されています。現在の政策下でも生産年齢人口は、3分の1以下になるということですが、この状況をどのように考えるか伺います。</p>	町 長
	<p>(2) 「第10次若桜町総合計画」での目標人口は、2040年は2,000人、2060年は1,400人です。以前に出された「増田レポートにおける鳥取県の将来推計人口」によると、人口移動が収束しない場合、若桜町の人口は2040年に1,570人になると推測されていました。総合計画の目標値よりかなり減少している人口です。総合計画の目標値に近づけるには、現在の政策のいっそうの推進あるいは大きな政策転換を行う事も必要ですが、どのように考えるか伺います。</p>	町 長